

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

ハゼノキ観察と和ろうそくづくり

和歌山地区・地区委員 岡田和久・指導者グループ代表 岡田和久

【事業のポイント】

- 野外において貴重な蠟生産に使われたハゼノキの観察
- 高枝切りでハゼノキの実を採取
- 作業の協力
- ハゼノキの実をつぶし、そこから蠟を取り出す作業体験
- 里山の植物から身近なろうそくが作られることを確認



ハゼの実取り

1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

- 里山にある役に立つ樹木を知る。
- 木の実から蠟を取り出すむっかしの人の技術に触れる。
- 自分たちで作った和ろうそくの火を見つめながら、人間と森とのつながりについて考える。

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

日本森林インストラクター協会関西支部の中で、泉南及び和歌山地域在住メンバー6名により実施

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
2月11日	根来山げんきの森	12	日帰り		ハゼノキの実を採取し、和ろうそくを作る
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

(3) 具体的な取組の概要

- 実のついたハゼノキを見つける。
- なぜ実のついてないハゼノキがあるのか：雄の木・野鳥が実を食べてしまった木を知る
- 高枝切りを使ってハゼノキの実を集める。
- ハゼの実を瓶に入れ、棒でつついてそれをつぶし、タネと分別する。
- 果肉の部分を蒸し、压榨して蠟を抽出する
- 抽出した蠟をクルミの殻に入れ、芯を立ててろうそくを作り
- 自分たちで作ったろうそくが燃えるか試してみる

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

【成果】

- 野生のハゼノキの実は木によって大きさが違った。
- あらかじめ用意していた「ブドウハゼ」という和歌山県特産のハゼの実の大きさに驚く。
- ハゼの実をつぶす作業への子供たちの集中力は我々スタッフも驚いた。
- 自分たちで抽出した蠟でつうたらろうそくに火がついたことに感動できた。

【課題】

- 4回目の参加者と初めての参加者をなじませることに今回も苦労した。
- 集中できる作業とできない作業があり、その調整に苦労した。

4. 団体プロフィール

	写真
--	----